

第34回

PFF

ぴあフィルムフェスティバル

2012/9/18[火]～28[金] 東京
東京国立近代美術館フィルムセンター(京橋)

夢で
終わらせない
映画祭



主催: PFFパートナーズ **ぴあ** ホリプロ **N** / **UNI JAPAN** 公益財団法人ユニジャパン

共催: **F** 東京国立近代美術館フィルムセンター 特別助成: **CSCA** 一般社団法人映画演劇文化協会 特別協賛: **SEGA-SAMMY GROUP**

後援: 一般社団法人日本映画製作者連盟 / NPO法人映像産業振興機構(VIPO) / 協同組合日本映画監督協会 協力: 早稲田大学

<http://pff.jp/>
CoFesta
2012

【コンペティション部門】PFFアワード2012

1977年から続くコンペティション「PFFアワード」。自主映画の歴史を35年間目撃してきました。

今年は更に驚きの新世代監督たちが登場しています。平均年齢23.6歳。

そのセンスとちからを今こそスクリーンで体験してください！現在DVD化予定なしの16作品です。

*監督の年齢は応募時のものです。*地名は出身地です。*上映後、来場監督とのトークを予定しています。

PFF Award



9月19日[水]12:30～/22日[土]14:45～



『かしい狗は、吠えずに笑う』

94分/カラー

渡部亮平 (24歳/愛媛県)

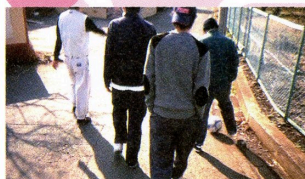
孤独な女子高生が初めて見つけた友情。その絆の行く先は？

少女に何が起こったのか？孤独な女子高生が明かす告白。そこで語られたのは、初めて出来た親友と呼べるクラスメイトとの出会いと友情の日々、そして……。壊れやすく傷つきやすい10代少女の友情を緊張感あるタッチと確かなストーリーテリング手法で描いた衝撃のドラマ。その予想もしない絆の漂着先に息を呑む。

PFF Award



9月19日[水]15:30～/23日[日]12:15～



『魅力の人間』

92分/カラー

二ノ宮隆太郎 (25歳/神奈川県)

工場で働く男たちの中学生男子のような日常に浮かび上がる不穏

自動販売機の修理工場に働く男たち。他者と深く関わろうとしない依田。そんな依田を嫌う高橋と同情する大島。依田に興味を持つ坂田は親しくならうと試みるが…。凡人たちのどうしようもなさを絶妙な距離感で描く群像劇。どこか捉えどころのない男・坂田を二ノ宮監督自身が独特の存在感で演じている。



『Her Res ~出会いをめぐる三分間の試問3本立て~』

12分/白黒+カラー

山戸結希 (22歳/愛知県)

対照的な女の子2人の出会いにまつわる、実験的恋愛短編集

ボーイッシュな女の子のみなみと、癒し系ガールすみれの関係をモデルケースに考える女子同士のラブ。あの娘の心を手に入れるには？どんな出会いで、どんなシチュエーションで、どんなきっかけがあれば恋愛に発展できるの？未知の可能性を秘めた新世代女性監督の不思議な映像パワーで纏られた、ショート・ラブ・ストーリー集。



『オハヨー』

13分/カラー

佐久川満月 (23歳/沖縄県)

恥辱にまみれた失恋男子が疾走の果てに吐き出すものとは？!

バス停の女子高生に恋した男子は、煩悶と妄想の末、勇気をふりしぼって自作の音楽テープを差し出すも、不気味がられて撃沈。体内から彼女への思いを吐き出しながら、叫び、走る。恥辱にまみれた悔しさを絶妙なリズムで刻まれた編集とヘッドホンサウンドトラックに乗せて13分に凝縮させた、狂おしき失恋ジェットコースタームービー。

PFF Award



9月20日[木]18:30～/25日[火]11:45～



『Please Please Me』

65分/カラー

青石太郎 (22歳/東京都)

ささやかに幸せに暮らす女子大生が悪意の存在によって世界を発見

大学生・笹野さつきは、父と団地で二人暮らし。親子の関係も良好、仲の良い彼氏もいる。ある日、清掃バイトの仕事先で「事件」を目撃したことで、さつきは自身の現状に不安を覚え始める。半徑数メートルな世界を描く凡庸さを打ち砕き、懸命に生活を営む人間の眩しい一瞬を卓越した演出で魅せる、「日常」映画の到達点!

PFF Award



9月21日[金]12:30～/23日[日]18:15～



『リコ』

65分/カラー

弓場 絢 (23歳/兵庫県)

中年男との同居生活で他者と繋がるすべを学んでいく無口な女の子

ゆりこが出会う、一人の“おやじ”。唐突に始まる2人の同居生活。繰り返される炊事と食事。共食という行為が親密さを育ててゆく。親子とも、恋人とも違う不確かな関係がここにある。誰かと共に生きるとき、確かに起こる他者への想いを活写しながら、そのリアリズムを突き破り、喜劇性をも表出させる新機軸。



『水槽』

49分/カラー

加藤綾佳 (23歳/新潟県)

田舎町でいじめを受けている女子中学生の強さと弱さに見惚れる

田舎町に暮らす中学生、千雪。彼女は学校でいじめを受けていた。救ってくれる大人は何処にもいない。そんなある日、町の外から不思議な男がやって来た。千雪は男と出会い、少しずつ彼に魅かれていく。大人の女性へと変わる心理を巧みに捉える眼差し。小さな身体で懸命に救済を手繰り寄せようとする少女の切実な訴えが鮮烈。



『あん、あん、あん』

43分/カラー

イノウエ カナ (22歳/京都府)

ボーイッシュな女子高生を軸に浮遊する「女」のさまざま

女子高生・肘木圭の周りには多くの性愛があった。父の不貞行為、自分を求めてくる大人たち、男装をしてみても変わらない。「わたし」の抱える女性性嫌悪、それでも逃れることが出来ないこの性(さか)と出会うため、肘木は少しだけ勇気を出してみる。魅力溢れる巧演者たちと、そこで生きる女性たちの深い洞察がここにある。

「PFFアワード2012各賞」

グランプリ(副賞100万円)、準グランプリ(副賞20万円)、審査員特別賞(副賞10万円/3作品)、

映画ファン賞(びあ映画生活賞)、エンタテインメント賞(ホリプロ賞)、ジェムストーン賞(日活賞)

日本映画ペンクラブ賞

※各賞とも豪華副賞

グランプリ作品は、第25回東京国際映画祭「日本映画・ある視点」部門にて招待上映されます。

👑 表彰式&グランプリ作品上映 → 9月28日[金]16:30~

PFF Award



9月20日[木]12:30~/22日[土]18:00~



『極私的ランナウェイ』

76分/カラー

河合 健 (22歳/大阪府)

夢を忘れた青年と金髪援交娘が北へと向かうロードムービー

死んだ目をした青年と、金髪援交娘の行き当たりばったりランナウェイ。道中で遭遇するのは、児童ポルノで小銭を稼ぐカメラマン、被災地へのボランティア、危ない援交男と、日本のリアルを体現する者たちばかり。旅の果てに2人が見つけるのは、希望がそれとも虚無か。セックス・シーンの本気度に、作り手の覚悟を見よ!!

PFF Award



9月20日[木]15:30~/23日[日]15:15~



『故郷の詩』

71分/カラー

嶺 豪一 (22歳/熊本県)

熊本から上京した大学生の、中途半端で空回りな愛しき日々

夢はあるものの語るだけ。したいことは分かっているけど、どうすればいいか分からない。まだ何者でもないからこそ、根拠のない自信と不安がないまぜな若者の青春を、脚本・主演そして監督の3役をこなし、当事者目線でセキララに綴る俺映画、そして多分あなたの、私たちの映画。青春の落とし前をつけるには、考える前に跳べ!



『ゆれもせで』

20分/カラー

川原康臣 (31歳/徳島県)

震災からひと月後、大阪の男が元恋人を連れ戻しに東京に来る

2011年4月11日。東京で生きるあなたは何を感じていましたか? 関西をはじめとする被災地以外のエリアで暮らすあなたは何を思っていましたか? 『パーク アンド ラブ ホテル』の神農幸と本多力(ヨーロッパ企画)の共演で描く恋愛映画。放射能の不安にかられた震災直後のリアルな東京の空気の再現が、あの日の記憶を呼び覚ます。



『継母』

22分/カラー

工藤隆史 (22歳/神奈川県)

父の再婚相手の過剰な世話焼きに可奈子はなんとか対処してきたが...

母でもない女性を母と呼びながら、彼女は他人でも肉親でもない女性と、ひとつ屋根の下2人きりで暮らす。なにかが異常なのか、それともこれが正常なのか。なんでもない、でもなにかがおかしい。その境界をおぼろげに照らす薄暗い照明の元、2人の女性の生活に、時に恐怖が、時にアクションが、そして時に感動が、生まれる。

PFF Award



9月21日[金]15:30~/25日[火]18:15~



『くじらのまち』

69分/カラー

鶴岡慧子 (23歳/長野県)

仲よし高校生男女3人組のすれ違う心の揺れを瑞々しく描く

陸での生活に適応したクジラは、なぜあえて新天地を目指すという試練を選び、海へと還っていったのか…。家族と故郷を捨てて失踪した兄を想う、女子高生まち。高校最後の夏休み、仲よし3人組は、まちの兄を捜す旅に出る。永遠に続くかのように見えた穏やかな学生生活の終わりに、揺れる思春期の心象風景を瑞々しく描いた青春群像劇。

PFF Award



9月22日[土]11:30~/25日[火]15:00~



『stay チューン』

65分/カラー

伊藤智之 (26歳/千葉県)

ぱっとしない男子高校生、真の姿は深夜ラジオのスター投稿者!

イケてない男子高生は世を忍ぶ飯の姿。しかしてその正体は、深夜ラジオ番組のMVPハガキ職人! ネット全盛時代にありて敢えてラジオ! 敢えてハガキ! 高校生の分際でセックスなんて言語道断! 中2病やこじらせた青春(©みうらじゅん)なんて、精液まみれになるほどオナニーすればいいだけのこと。下ネタ上等なきみが好きだ!



『あの日から村々する』

22分/カラー

加藤秀則 (20歳/宮城県)

原子力発電を全廃させた2021年の日本で悪夢の事故が再び!

みんなもよく知っている「なめこ汁発電」はとても安全なエネルギーです。でも使用済みなめこ汁に含まれる成分には、人体をカニ化する恐れがあります…。そんな不条理によって、混乱を極める人々の生活。だがただ一人、長年住み続けた家を追われそうになる女性が、孤獨な抵抗の狼煙をあげる。耳をすまし、彼女の叫びを聞け。



『飛び火』

58分/カラー

永山正史 (28歳/神奈川県)

夜の山道で助けてくれたオジサンの倫理観に恐怖で震える青年

気弱で他人と対峙できない青年ヨシオは、夜の山道で遭遇した善良なオジサンの独特すぎる倫理観と行動力に驚愕。オジサンの断言口調にヨシオも観客も自らの価値判断を揺さぶられ、やがて恐怖をきたす。のどかな田舎町を舞台にしたホラー映画の形をとりながら、一転、ラストで青年の成長譚へと飛び火させる剛腕ストーリーテラー。

映画の“ルック”を浴びてみる!

全作品フィルム上映

～マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーガー&ジャック・カーディフ～

手軽で高度なビデオカメラの登場で、音が、画が、それなりに撮れる昨今。

もうひとふんばり、映画のルックに力を注いでみませんか?

イギリスを代表する製作・監督・脚本パートナー、パウエル&プレスバーガー、そして撮影のカーディフ。

彼らの作品があなたを激しく刺激します!

9月18日[火]15:30~/26日[水]18:00~

『老兵は死なず』 1943年/35mm/163分/カラー

THE LIFE AND DEATH OF COLONEL BLIMP (日本語字幕投影)

製作・監督・脚本:マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーガー
第二班撮影:ジャック・カーディフ

出演:デボラ・カー、ロジャー・リヴセイ、アントン・ウォルブルック、
ローランド・カルヴァー、デヴィッド・ウォード



ポーア戦争、第一次&第二次世界大戦と、3つの戦争を生き抜くキャンディ少将を通して、変わるもの、変わらないものを見事に描く。国境を越えた友情、女性への愛と敬意、そして、デボラ・カーの3役も注目! 記念すべきパウエル&プレスバーガーの製作会社「アーチャーズ」第一作。イギリスでは現在もベスト映画に選ばれる傑作!

9月18日[火]12:30~/21日[金]13:30~(小ホール)

『赤い靴』 1948年/35mm/136分/カラー

THE RED SHOES (日本語字幕つき)

製作・監督・脚本:マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーガー
撮影:ジャック・カーディフ

出演:モイラ・シアラー、アントン・ウォルブルック、マリウス・ゴーリング、
ロバート・ヘルプマン、アルバート・パッサーマン



マーティン・スコセッシの映画保存活動第一作にも選ばれた名作だが、公開時英国では「バレエを撮るなんて…」と冷遇された。童話「赤い靴」をベースに、芸術の為に人は生きられるか?を問う。新作の主役に抜擢された新人バレリーナが、作曲家との恋を取るか踊りを取るかはざまで…。テクニカラーとバレエ撮影の頂点!

9月18日[火]19:00~/26日[水]15:30~

『天国への階段』 1946年/35mm/104分/白黒+カラー

A MATTER OF LIFE AND DEATH (日本語字幕投影)

製作・監督・脚本:マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーガー
撮影:ジャック・カーディフ

出演:デヴィッド・ニーヴン、キム・ハンター、レイモンド・マッセイ、
ロジャー・リヴセイ、ロバート・クート



第二次世界大戦。墜落する戦闘機から遺言を無線で語る英国兵ピーター。受ける連合国兵ジュン。天国では、ピーターを探しに天使が地上に派遣される。ピーターは死んだのか?生きているのか?国家間の確執が噴き出す生死裁判を、壮大なセット、カラーと白黒のコントラストの妙、合成など、映画の粋を凝縮して魅せる必見作!!

9月21日[金]16:30~(小ホール)/26日[水]13:00~

『黒水仙』 1947年/35mm/100分/カラー

BLACK NARCISSUS (日本語字幕つき)

製作・監督・脚本:マイケル・パウエル、エメリック・プレスバーガー
撮影:ジャック・カーディフ

出演:デボラ・カー、サバー、フローラ・ロブソン、
ジーン・シモンズ、ジュディス・ファース



ヒマラヤの麓、険しい崖に張り付く、かつての王の愛人たちの宮殿を学校と病院として成功させる命を受けた4人の尼僧。秘境の村は彼女たちを変えていく…。オールセットとマットペインティングでつくりこまれた隔絶された世界が驚愕と感動を呼ぶ驚異の映画。複数部門のアカデミー賞を受賞。百聞は一見に如かず。見るべし!!



日本映画最新作

公開予定作品をいち早く紹介します。

本年は日本映画を支える俳優たちが集結した『Playback』と、子供の夢がそのまま映画になった、瑞々しい『リルウの冒険』です。

9月19日[水]18:30~

三宅監督来場予定!

『Playback』

2012年/35mm/113分/白黒

監督・脚本・編集:三宅唱

出演:村上 淳、渋川清彦、三浦誠己、
渡辺真起子、菅田 俊



ふと気付くと、すっかり中年のまま、制服を着て高校時代を再体験している俳優ハジ。人生の分岐点に立ち、奇妙にも過去と現在を往復することになった彼は、そこで何を発見するのか? 独特の時間感覚と美しい白黒映像がみる者の心を奪い、第65回ロカルノ国際映画祭インターナショナル・コンペティションに招待された。

9月21日[金]18:30~

熊坂監督来場予定!

『リルウの冒険』

2012年/117分/カラー

監督・脚本・撮影:熊坂 出

出演:ジャバテ璃瑠、仲村渠さえら、
ユール・ジャバテ、泉川珠羅、リリい(特別出演)

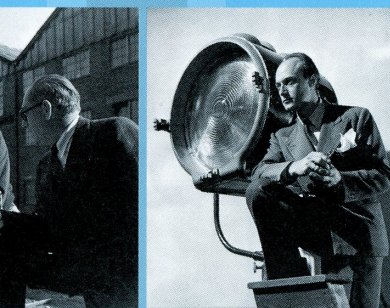


たった一人の友達、こころが消えた。「リルウ、ゆめをわすれないで。」ゆめ? だれがみたゆめ? 「ふたつそろわないとほんとうの意味がわからない物語がある」と、こころは言った。何者かによって異世界に引き入れられたリルウ。そして、リルウの冒険が、今、はじまる。『パーク アンド ラブホテル』の熊坂出監督。待望の新作完成!

Invited Works

招待作品部門

映画を志すひとたちに、ヒントやエールとなる映画を上映したい。それが招待作品部門です。



左写真-左:マイケル・パウエル (1905-1990)

映画監督/イギリス生まれ

左写真-右:エメリック・プレスバーク (1902-1988)

脚本家・小説家/ハンガリー生まれ

31年から5年間に23本の低予算映画をこなし腕を磨いたマイケル・パウエルは、『スパイ』(41年)で、脚本家として紹介されたエメリック・プレスバークと出会い意気投合。42年、共同で製作・監督・脚本を行うため「アーチャーズプロダクション」を設立。11作品を発表し高い評価を受け、デヴィッド・リン、アルフレッド・ヒッチコックと並ぶイギリスの誇る映画監督となる。しかし、60年にパウエルが単独で監督した『血を吸うカメラ』の性的で暴力的な描写が大変な非難を受け映画界を追放状態に。後に、マーティン・スコセッシを始めとする熱狂的パウエルファンの監督たちによる再評価で、『血を吸うカメラ』は今や傑作のひとつとして知られている。

右写真:ジャック・カーティフ (1914-2009)

撮影監督・映画監督/イギリス生まれ

マイケル・パウエル作品『老兵は死なず』で第二班撮影に参加し注目され、続く『天国への階段』『黒水仙』『赤い靴』で撮影監督として不動の地位を築く。他に、『山羊座のもとに』『アフリカの女王』『王子と踊子』『ランボー/怒りの脱出』など多彩な監督の撮影監督を務め、アカデミー賞はじめ数々の受賞がある。映画監督としても『息子と恋人』で高い評価を受け、『あの胸にもう一度』は日本で人気を博した。絵画への造詣が深く、自らも絵筆をとった。

特別上映作品

9月21日[金]19:15~(小ホール)

22日[土]12:15~(小ホール)

『ヒズ・ロードシップ』

1932年/35mm/72分/白黒

HIS LORDSHIP

(日本語字幕つき)

監督:マイケル・パウエル

出演:ジェリー・ヴァーノ、ジャネット・メグリュー、
ポリー・ワード、ベン・ヴェルデン、マイケル・ホーガン



若きマイケル・パウエルが挑戦した量産低予算映画から、現存する貴重な1作を上映。「自主映画?」とさえ感じる、さまざまな映画の楽しさをリズムカルにつなぎ合わせたミュージカルコメディ。ロンドンの配管工パートは、父の残した称号故に、「貴族」との話題がほしいアメリカの新進女優に結婚を持ちかけられるが…。DVD未発売。

追悼 森田芳光監督 幻の8mm作品たち

20代の森田芳光監督が生んだ貴重な8mm作品を、追悼特別企画として上映します。監督の監修のもと、8mmフィルムからデジタル化したヴァージョンでの上映です。二度とないチャンスとなる可能性大！更に、ゲストを迎え当時のお話をお伺いします。



「水蒸気急行」

「ライブイン茅ヶ崎」

第一部 9月23日[日]11:30~(小ホール)

『映画』 1971年/パートカラー/31分

監督・撮影・編集:森田芳光 出演:森田芳光、峰 友秀、勝山節子
監督自身が劇中に登場し、ラブロマンス、任侠映画、政治映画など、あらゆる映画のパターンを演じ、ついには、自らの次回作の予告編まで組み込み「自分にとって映画とは何か」を探索する意欲作。

『遠近術』 1972年/パートカラー/76分

監督・撮影:森田芳光

毎日8mmフィルム1巻分の撮影を自らに課し、32日分のフィルムを繋ぐ。現像後に編集するという手順を外し、カメラの中でモンタージュを完成させたことで、カメラ=映画であることを連想させる。

第二部 9月23日[日]14:30~(小ホール)

『水蒸気急行』 1976年/カラー/59分

監督・撮影・編集:森田芳光

ルールの読み切れない配列に従って走る電車のカットに、ラジオからの多彩な音がかぶさる独特の編集と、縦横無尽のカメラワーク、大胆不敵なカッティングが車窓風景をより生々しく伝える意欲作。

『ライブイン茅ヶ崎』 1978年/カラー/77分

1978年PFF入選作品

監督・撮影・編集:森田芳光 出演:青木真巳、石井 保、三沢信子

茅ヶ崎生まれ茅ヶ崎育ちの若者の飾り気のないリアルな日常を、独特のリズミカルな構成で綴る瑞々しい青春映画。「ニューエンタテインメントシネマ」と自ら名づけ、大友克洋作画ポスターも話題に。

第一部、第二部ともゲストトークあり。

70年代の森田監督についてお話を伺います。

※ゲストの詳細はPFF公式サイトにて発表します。

テレビドラマに挑戦! WOWOWドラマをみる。

9月22日[土]14:00~(小ホール)

祝・ヴェネチア国際映画祭正式出品!

テレビドラマ異例の映画祭招待実現!という

嬉しいニュースも記憶に新しい『贖罪』。

その「国際映画祭ヴァージョン」での特別上映が決定しました!

黒沢監督来場予定!

『贖罪』

2012年/270分/カラー

監督・脚本:黒沢清

出演:小泉今日子

蒼井 優

小池栄子

安藤サクラ

池脇千鶴

森山未來

水橋研二

加瀬 亮

長谷川朝晴

伊藤 歩

新井浩文

田中哲司

香川照之



「告白」で知られる湊かなえの原作小説をドラマ化。世界的に高い評価を得る黒沢清監督が、人間誰もが隠し持つ毒や心の闇を、5人の女性の視点から描ききる衝撃作。連鎖する悲劇を彩る豪華キャストたちの迫真の競演も話題に。今回、監督の手により、WOWOWオンエア版(300分)を再編集し、30分短く完成した「映画祭ヴァージョン」での上映が実現。

9月23日[日]17:45~(小ホール)

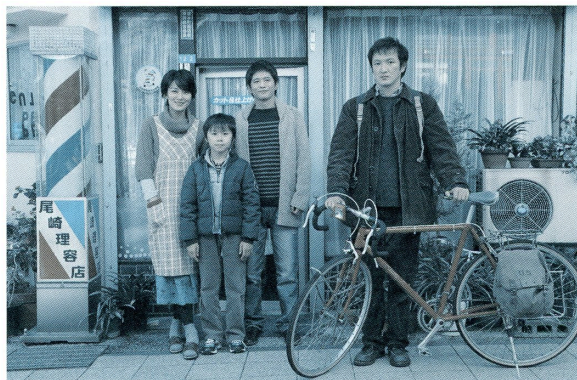
『エンドロール〜伝説の父〜』

石井監督来場予定!

2012年/117分/カラー

監督:石井裕也 脚本:福島カツシゲ、石井裕也

出演:中村獅童、萩原聖人、板谷由夏



587編の応募作の中から選ばれた第4回WOWOWシナリオ大賞受賞作のドラマ化。20年ぶりに故郷に帰ってきた売れない映画監督が、死を目前にした親友の願いを叶えようと、街の人々を巻き込んで大奮闘する、笑いと涙あふれる人間ドラマ。「川の底からこんにちは」の石井裕也監督がテレビドラマに初挑戦し、新境地をみせる。

第22回 PFFスカラシップ お披露目

「PFFスカラシップ」は、PFFアワード入賞者による企画コンペから、1作品を、PFFが企画から公開までトータルプロデュースする映画製作プロジェクトです。本年は廣原 暁監督。2010年のPFFアワード審査員特別賞受賞作品『世界グッドモーニング!!』がフランスで公開予定など、世界の注目があつまり、自身の転換点となると話す『HOMESICK』を出来立てでご覧いただけます！

9月27日[木]15:30~

『HOMESICK』完成記念 **ライブつき特別上映**

フィルムセンター史上初！上映後、音楽を担当したARTLESS NOTEのミニライブを行います。

『世界グッドモーニング!!』

2009年 / 81分 / カラー PFFアワード2010審査員特別賞受賞作品

監督・脚本・編集:

廣原 暁

出演: 小泉陽一郎

新井美穂

泉 光典

森本73子

金山翔太郎



毎日流れる暗いニュース、母親との二人暮らし、代わり映えない生活とぼっとしない自分。でも、ほんの出来心で盗んだホームレスのバッグから、自分を変える旅が始まる！内気な少年が、大きな世界と出会うロードムービー。第29回バンクーバー国際映画祭ドラゴン&タイガー・ヤングシネマ・アワードにてグランプリを受賞。

ライブ
出演

ARTLESS NOTE / 2005年結成。ドラム×2、ギター×1という特異な編成で都内のライブハウスを中心に活動を続けるロックバンド。廣原監督作品に欠かせない存在として、『世界グッドモーニング!!』をはじめ、ほぼ全ての作品で音楽を担当している。今回、フィルムセンターでは、通常よりシンプルな構成での演奏を予定している。

9月27日[木]18:30~

『HOMESICK』

2012年 / 約100分予定 / カラー

監督: 廣原 暁 / 出演: 郭 智博、金田悠希、船崎飛翼、本間 翔、奥田恵梨華



父は山奥でペンション経営。妹は海外放浪中。母は行方知れず。そして、ひとりになった家の引き渡しを迫られながら失業した30歳の健二は…。これは、自らの足で立つまでに、とても時間のかかる、私たちの物語。「家」とか「家族」とか「大人」とか「子供」とか、「社会」を「世界」を構成する私たち自身を、優しく後押しする映画の誕生。

Admission 入場料一覧

お得で安心な前売り券のご購入をおすすめします。
前売り券はチケットぴあでのみ発売です。
フィルムセンター窓口での前売券販売はございません。

8月11日[土]発売開始

全席指定制

大ホール:定員310名
小ホール:定員151名

コンペティション部門 [Pコード:550-173]

▶「PFFアワード2012」専用チケット

▶表彰式&グランプリ 上映チケット

前売券▶1,000円 当日券▶一般:1,200円/大学・高校・シニア(65歳以上):1,100円
小・中学生:800円/障害者・障害者介添者:500円/キャンパスメンバーズ:950円

招待作品部門 [Pコード:550-174]

▶第22回PFFスカラシップ作品『HOMESICK』

▶『HOMESICK』完成記念 **ライブつき特別上映** 『世界グッドモーニング!!』

▶日本映画最新作『Playback』『リルウの冒険』

▶テレビドラマに挑戦! WOWOWドラマをみる。『エンドロール〜伝説の父〜』

▶**追悼** 森田芳光監督 幻の8mm作品たち 第一部/第二部

▶映画の“ルック”を浴びてみる! 『老兵は死なず』『天国への階段』『赤い靴』『黒水仙』『ヒズ・ロードシップ』

前売券▶1,300円 当日券▶一般:1,500円/大学・高校・シニア(65歳以上):1,400円
小・中学生:1,100円/障害者・障害者介添者:500円/キャンパスメンバーズ:1,250円

▶テレビドラマに挑戦! WOWOWドラマをみる。『贖罪』

前売券▶2,000円 当日券▶一般:2,300円/大学・高校・シニア(65歳以上):2,150円
小・中学生:1,800円/障害者・障害者介添者:1,300円/キャンパスメンバーズ:1,950円

[前売券の購入方法]

※フィルムセンター窓口での販売はございません。

- お近くのチケットぴあのお店で直接購入
- 店舗の検索はこちら: http://ticket-search.pia.jp/pia/spst/spst_map01.do
- サークルK・サンクスで直接購入
- セブン-イレブンにて直接購入
- インターネットにて購入 → チケットぴあ: <http://t.pia.jp/cinema/>
- チケットぴあにて電話予約後、ぴあのお店、サークルK・サンクス、セブン-イレブンで受け取り
- チケットぴあ音声認識予約: 0570-02-9999

[指定席について]

- 全席指定です。
- 「前方」「中央」「後方」のいずれかを選んでご購入いただけますが、ご希望に添えない場合がございます。
- 上映開始後はお手持ちのチケットのお席にご案内できない場合がございます。
- お時間に余裕を持ってお越しください。

[注意事項]

- 前売券の電話予約は各上映日の5日前まで、直接購入は各上映日の2日前までとなります。
- 前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

[当日券について]

- 当日券は、各回1名につき1枚販売いたします。
- 当日券(当日、当該枠のみ有効)は、会場受付にて各回上映30分前から開映時刻まで販売します。
- 開映後の当日券の販売はいたしません(前売券をお持ちの方に限り途中入場可)。
- 当日券の有無は、各上映の前日にホームページで確認することができます。
- フィルムセンター ホームページ: <http://www.momat.go.jp/>
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は証明できるものを提示ください。
- 障害者介添者は原則1名まで障害者と同じ料金でご入場いただけます。
- 「ぴあカード」のご提示により、一般の当日料金が割引になります。
- 国立美術館キャンパスメンバーズの方は、学生証・職員証のご提示により当日料金が割引になります。

付帯企画

カルトブランシュ〜期待の映画人・文化人が選ぶ日本映画〜

会場: 東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール

9月18日~28日のPFF会期中に3夜実施!

菊地成孔(ミュージシャン)、平田オリザ(演出家)他、豪華ゲストが上映作品を選定。詳細は公式HPにて発表します!お楽しみに!!!!

<http://www.cartelblanche-movie.com/>

前売参加料▶800円 [Pコード:550-175] ※チケットは8月20日チケットぴあにて発売
当日参加料▶一般:1,000円/小・中・高・大学生、障害者(付添者は原則1名まで):500円

主催:東京国立近代美術館フィルムセンター、エイベックス・ミュージック・パブリッシング株式会社、ぴあ株式会社 企画協力:株式会社REALWAVE

Time Table タイムテーブル

※PFFアワード監督の来場予定およびゲスト来場の追加情報は随時HPで発表します。
 ※やむを得ない事情により、プログラムおよび来場ゲストが変更になる場合がございます。
 ※全プログラムとも、録画・録音機器、及びPCの会場への持ち込みは禁じられています。

★…ゲスト来場予定。

開場は開演時間の15分前を予定。

	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	
9/18 [火]	東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール		映画の“ルック”を浴びてみる! 12:30 『赤い靴』		映画の“ルック”を浴びてみる! 15:30 『老兵は死なず』		映画の“ルック”を浴びてみる! 19:00 『天国への階段』					
9/19 [水]		PFFアワードA ★ PFF Award 12:30 『かしい狗は、吠えずに笑う』 『Her Res ~出会いをめぐる三分間の試問本立て~』		PFFアワードB ★ PFF Award 15:30 『魅力の人間』 『オハヨー』		日本映画最新作 18:30 『Playback』★						
9/20 [木]		PFFアワードC ★ PFF Award 12:30 『極私的ランナウェイ』 『ゆれもせで』		PFFアワードD ★ PFF Award 15:30 『故郷の詩』 『継母』		PFFアワードE ★ PFF Award 18:30 『Please Please Me』 『水槽』						
9/21 [金]		PFFアワードF ★ PFF Award 12:30 『リコ』 『あん、あん、あん』		PFFアワードG ★ PFF Award 15:30 『くじらのまち』 『あの日から村々する』		日本映画最新作 18:30 『リルウの冒険』★						
	小ホール		映画の“ルック”を浴びてみる! 13:30 『赤い靴』		映画の“ルック”を浴びてみる! 16:30 『黒水仙』		映画の“ルック”を浴びてみる! 19:15 『ヒズ・ロード シップ』					
9/22 [土]	大ホール	PFFアワードH ★ PFF Award 11:30 『stay チューン』 『飛び火』		PFFアワードA ★ PFF Award 14:45 『かしい狗は、吠えずに笑う』 『Her Res ~出会いをめぐる三分間の試問本立て~』		PFFアワードC ★ PFF Award 18:00 『極私的ランナウェイ』 『ゆれもせで』						
	小ホール	映画の“ルック”を浴びてみる 12:15 『ヒズ・ロード シップ』		テレビドラマに挑戦! WOWOWドラマをみる。★ 14:00 『贖罪』								
9/23 [日]	大ホール	PFFアワードB ★ PFF Award 12:15 『魅力の人間』 『オハヨー』		PFFアワードD ★ PFF Award 15:15 『故郷の詩』 『継母』		PFFアワードF ★ PFF Award 18:15 『リコ』 『あん、あん、あん』						
	小ホール	11:30 森田芳光監督 女の8mm作品たち 第一部 『映画』 『遠近術』★		14:30 森田芳光監督 女の8mm作品たち 第二部 『水蒸気急行』 『ライブイン 茅ヶ崎』★		17:45 テレビドラマに挑戦! ★ WOWOWドラマをみる。 『エンドロール〜伝説の父〜』						
9/24 [月]	休館日											
9/25 [火]	東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール		PFFアワードE ★ PFF Award 11:45 『Please Please Me』 『水槽』		PFFアワードH ★ PFF Award 15:00 『stay チューン』 『飛び火』		PFFアワードG ★ PFF Award 18:15 『くじらのまち』 『あの日から村々する』					
9/26 [水]		映画の“ルック”を浴びてみる! 13:00 『黒水仙』		映画の“ルック”を浴びてみる! 15:30 『天国への階段』		映画の“ルック”を浴びてみる! 18:00 『老兵は死なず』						
9/27 [木]		お問い合わせ:PFF事務局 03-5774-5296(平日 10:00~18:00) http://pff.jp/				15:30 『HOMESICK』完成記念 ライブつき特別上映 『世界グッドモーニング!!』★		18:30 第22回PFFスカラシップ作品 お披露目 『HOMESICK』★				
9/28 [金]		16:30 PFFアワード2012 表彰式&グランプリ作品上映										

Access 会場へのアクセス

東京国立近代美術館フィルムセンター

[住所] 東京都中央区京橋3-7-6

- 東京メトロ銀座線「京橋駅」1番出口より昭和通り方向へ徒歩1分
- 都営地下鉄浅草線「宝町駅」A4出口より中央通り方向へ徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口より徒歩5分
- JR「東京駅」八重洲南口より徒歩10分

